

入院のご案内

Guidance of hospitalization

入院日時____月____日(____)____時

入院時間に**患者支援センター**までお越しください



川西市立総合医療センター

病院理念

良質な医療の提供を通して地域社会に貢献します。

基本方針

1. 患者さんの立場に立ち、誠実であたたかい医療を実践します。
2. 安全で良質な医療水準を確保し、信頼と満足が得られる病院を目指します。
3. 他の医療機関と連携し、地域医療の貢献に努めます。
4. 健全な病院経営を目指し、安定した医療提供を実践します。
5. 職員が満足できる病院づくりに努め、地域医療に貢献できる医療人を育成します。

患者・医療者パートナーシップ推進方針

- 「説明と同意」に基づく医療を行っています。説明はできるだけ複数の方でお聞きになって下さい。説明が理解できない場合や、納得できない場合は遠慮なくお尋ね下さい。
- 必要な治療や検査などに意欲的に取り組めるようサポートさせていただきます。
- 他の医師の意見や他院の意見を聞くことについて遠慮なく申し出て下さい。
- 注射・点滴・検査などを受けられる場合には、職員と共にご自分の名前を御確認下さい。
- アレルギーや内服中の薬のこと、これまでの病気のことなど、ご自身の健康に関する情報は出来るだけ正確にお伝え下さい。お薬手帳、薬の説明書、ペースメーカー手帳等は、受診や入院の際にお見せ下さい。
- 転倒・転落の事故防止のため、歩行や立ち上がりに不安のある方は、ご遠慮なくお申し出下さい。
- 院内感染防止のため、病室に入られる場合は、入り口に備え付けの消毒薬で手の消毒をお願いいたします。
- 医療の安全を確保するための規則や、他の患者様との共同生活を維持するための約束事をお守り下さい。

ご協力をお願い

1. ご入院中の患者さんは、保険請求上の制約により他の医療機関は受診できません。独自で、他院に受診された場合は**全額自費診療**となります。
2. **退院時間は原則として午前10時**となっております。詳細については入院後、病棟スタッフへご確認ください。
3. 患者さんの疾病の内容や病状に応じて、**他の病棟・病室へ移っていただく**場合がありますのであらかじめご了承ください。

当院は、地域医療支援病院として地域の救急及び急性期医療を担っております。救急対応及び急性期の治療が終了した患者さんは、治療の段階に応じて病室や 病棟の変更、他の医療機関へ転送や転院となる場合があります。地域の医療機関との連携、機能分化を通じて、地域全体で切れ目のない医療を提供できるよう「地域完結型医療」への取り組みにご理解をお願いいたします。

<退院先>

- ◆ 自宅 ◆ 施設 ◆ 地域包括ケア病棟 ◆ 回復期リハビリテーション病棟
- ◆ 医療療養型病床 ◆ 緩和ケア病床 など

入院に必要なもの・入院手続き

P6・P7

入院の過ごし方・設備・面会のご案内

P8・P9

料金の支払い・診断書(証明書)の申し込み

P10・P11

患者支援センターのご紹介(入退院支援・相談)

P12・P13

安全な入院生活等についてのお願い

P14 - P19

個人情報・その他患者さまへのお願い

P20・P21

よくあるご質問・病棟図

P22・P23

川西市立総合医療センターの患者権利章典

医療は患者様と医療提供者とがお互いの信頼関係に基づき協働して作りあげていくものであり、患者様に主体的に参加していただくことが必要です。

川西市立総合医療センターはこのような考え方にに基づき、ここに『患者権利章典』を制定します。

川西市立総合医療センターは、この『患者権利章典』を守り、患者様の医療に対する主体的な参加を支援していきます。

1. だれでも、良質で安全な医療を公平に受ける権利があります。
2. 一人の人間として、その人格価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
3. 病気、検査、治療、予後、リスクなどについて理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。希望しない検査や治療を断る権利があります。
5. 別の医師の意見(セカンドオピニオン)を受ける権利があります。他の医療機関に変わることもできる権利があります。
6. 研究途上にある医療に関し、目的や危険性などについて十分な情報提供を受けた上で、その医療を受けるかどうかを決める権利と、何らかの不利益を受けることなくいつでも医療を拒否する権利があります。
7. 自分の診療記録の開示を求める権利があります。
8. 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
9. すべての患者様が適切な医療を受けられるようにするため、患者様には他の患者様の治療や病院職員による医療提供に支障を与えないように配慮する責務があります。

川西市立総合医療センターのこども患者権利章典 (かんじゃけんりしょうてん)

あなたは、いつでもひとりの人間(にんげん)として大切(たいせつ)にされ、あなたの成長(せいちょう)や発達(はったつ) <おとなへと育(そだ)っていくこと>のことをどのようなときにも一番(いちばん)に考(かんが)えた医療(いりょう) <びょうきをなおしてもらうこと>を受(う)けることができます。

病気(びょうき)を治(なお)すためには、あなたとあなたの家族(かぞく)や病院(びょういん)の医師(いし)、看護師(かんごし)、その他(た)のスタッフがおたがいに力(ちから)を合(あ)わせていくことが大切(たいせつ)です。

1. あなたは、ひとりの人間(にんげん)として大切(たいせつ)にされます。
2. あなたは、あなたにとって一番(いちばん)よいと考(かんが)えられる治療(ちりょう)を受(う)けることができます。
3. あなたは、病気(びょうき)のことや病気(びょうき)を治(なお)していく方法(ほうほう)について、わからないことや不安(ふあん)なことがあるときは、いつでも病院(びょういん)の人(ひと)に聞(き)いて、何度(なんど)でもわかりやすく教(おし)えてもらうことができます。
4. あなたは、十分(じゅうぶん)に説明(せつめい)してもらったうえで、自分(じぶん)の考(かんが)えや気持(きもち)を家族(かぞく)や病院(びょういん)の人(ひと)に伝(つた)えることができます。
5. あなたは、知(し)られたくないことがあれば、家族(かぞく)や病院(びょういん)の人(ひと)に伝(つた)えることで、秘密(ひみつ)にすることができます。
6. あなたは、入院(にゅういん)しているとき、できる限(かぎ)り家族(かぞく)と過(す)ごすことができます。
7. あなたは、入院(にゅういん)しているときでも、学(まな)んだり、遊(あそ)んだりすることができます。
8. あなたとみんなが気持(きもち)よく過(す)ごすために、病院(びょういん)の約束(やくそく)をまもってください。。



入院に必要なもの・入院手続き

入院に必要なもの

持ち物には**お名前をご記入**ください。

産科へご入院される方の持ち物は別紙をご覧ください。

書類など

- ☐ マイナ保険証もしくは資格確認書・公費医療証(高齢医療受給者証・福祉医療券等・限度額適用認定証・乳児医療証)など

※月1回ご提示ください

- ☐ 退院証明書(直近3ヶ月に他院へ入院されていた方のみ)

- ☐ 診察券

- ☐ 入院必要書類(入院誓約書兼保証書・入院時間診票など)

- ☐ 各種同意書など

- ☐ 筆記用具・印鑑(シャチハタ不可)

お薬など

- ☐ 薬(内服・目薬・軟膏など)
入院予定日数より**3日分多く**お持ちください

※ご入院中に他院を受診(薬処方含む)することは、原則出来ません。

- ☐ お薬手帳

- ☐ 医療処置用具(必要な方のみ)

- ☐ 保湿剤(身体に塗るクリームなど)

身の回り品・日用品

- ☐ パジャマ・寝巻き・下着

- ☐ 水筒もしくはコップ
(割れにくいもの)

- ☐ 履き物
(かかとのあるすべりにくいもの)

- ☐ ハンガー(プラスチック製)
※必要な方はご持参ください

- ☐ ティッシュペーパー

- ☐ タオル・バスタオル

- ☐ 洗面用具(歯ブラシなど)

- ☐ 入浴用具(石けん・シャンプーなど)

- ☐ 使い捨てマスク(入院日数分)

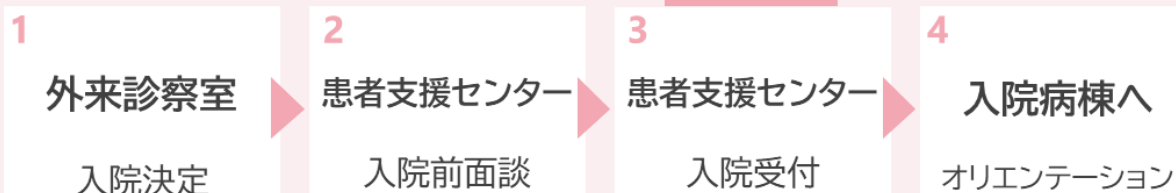
レンタルについて

入院生活に必要な病衣・タオルなどをレンタルすることができます。

詳しくはご案内用紙(別紙)をご覧ください。

入院の手続き

予約入院の場合



1. 入院が決定した方へ入院に必要な書類等をお渡します。患者支援センター入院前面談のご予約をお取りします。

2. 入院前面談にて入院に関するご説明、指導を行います。ご不安に思われることなどお気軽にご相談ください。※ご家族の方などと一緒にお願いします。

3. 入院日当日は患者支援センター受付へお越しください。**診察券・マイナ保険証等・入院誓約書兼保証書・お薬**を確認いたします。事前にご準備ください。

4. 受付終了後、入院病棟をお伝えします。入院時間まで待合にてお待ちください。
入院後、病棟にて入院オリエンテーションを行います。

※緊急入院が必要な患者さんの受け入れなどにより、やむを得ず入院日を変更させていただく場合があります。その際には指定された入院日の前日までにご連絡いたします。

当日入院(緊急入院)の場合



外来もしくは救急外来にて入院必要書類の説明を行います。

入院後、担当者より必要書類の説明、オリエンテーションなどを行います。



入院の過ごし方・設備・面会のご案内

入院の過ごし方



お食事

入院中の配膳は次のとおりです。
病棟により多少の時間差があります
のでご了承ください。

朝食 … 8時頃配膳

昼食 … 12時頃配膳

夕食 … 18時頃配膳

治療の妨げとなりますので、自炊・
病院外からの持込み（出前含む）は
お断りします。



外出・外泊

◆ ご入院中は、治療に専念して
いただくため外出・外泊は原則
認めておりません。

やむを得ず外出・外泊が必要な場合
は主治医の許可が必要となります。
必ず病棟看護師へお伝えください。

◆ 無断で外出された場合、入院の
継続が困難となる場合があります。



消灯時間

消灯時間は22時です。病棟の廊下
を消灯します。消灯後は、他の方
のご迷惑にならないよう静かにおやす
みください。



タブレットのレンタル

病室内のみ使用可能です。
レンタルをご希望される方は、ご案内
用紙（別紙）をご覧ください。

設備のご案内



病室内設備

- ◆ 現金・貴重品は、盗難防止のためセーフティボックスをご利用ください。
- ◆ 院内には、多額の現金や貴重品を持参しないようにしてください。
盗難・紛失が発生した場合、責任は負いかねますのでご了承ください。
- ◆ パソコン・タブレットなどをご使用される方は、他の方のご迷惑にならないようご注意ください。
- ◆ 病院内はフリーWi-Fiをご利用いただけます。ご利用される方は入院後、病棟スタッフへお声かけください。なお、接続等については患者さん・ご家族の方にて設定をお願いします。

院内設備

- ◆ 公衆電話は1階正面玄関付近に設置しています。

職員への御志、贈答などのお心遣いは、固くお断りしております。

面会のご案内

院内感染防止のため、**面会を制限**しております。

詳細は別紙のご案内用紙もしくは病院ホームページをご覧ください。

料金のお支払い



入院費用のご請求

ご入院期間が月をまたぐ場合、月末を締切日とし翌月10日ごろに請求書を作成いたします。

退院時については、退院が決定し、手続き後に請求書をお渡ししますので、お支払い方法をご参考にお支払いください。

請求書についてご不明なことがあれば1階 総合受付までお尋ねください。

<受付時間>

〔平日〕 8:30～17:00

〔土曜日〕 8:30～12:30



入院費用の計算方法

入院医療費は原則＜診断群分類別包括評価(DPC)＞方式により計算いたします。

病名や手術、処置等の内容に応じて分類された＜診断群分類＞に基づき、それぞれの分類ごとに定められた1日あたりの定額を医療費の基礎として算定いたします。

入院費用のお支払窓口

		お支払い時間	お支払い窓口
平日	時間内	8:30～17:00	自動精算機 会計窓口
	時間外	17:00～19:00	時間外窓口
休診日 (土・日・祝日)		〔土曜日〕 8:30～12:30 〔日・祝日〕 時間外窓口	自動精算機 会計窓口



保険外費用

室料差額料金、分娩介助料、病衣のレンタル代などについては、保険の適用とはなりません。

当院の諸料金規定によりご請求いたします。

医療費制度(高額療養費・限度額適用認定証)についてはご案内用紙(別紙)をご覧ください。



お支払い方法

◆ 現金

◆ クレジットカード

各種カードご利用いただけます。

◆ 後払いシステム

病院ホームページから申し込みが必要です。

ご不明な場合は1階 総合受付へお尋ねください。

診断書・証明書の申し込みについて

申し込み窓口

診断書・証明書が必要な場合、1階 総合受付へお申し出ください。

なお、書類作成には、お申込みから3週間程度のお日にちをいただいておりますのでご了承ください。

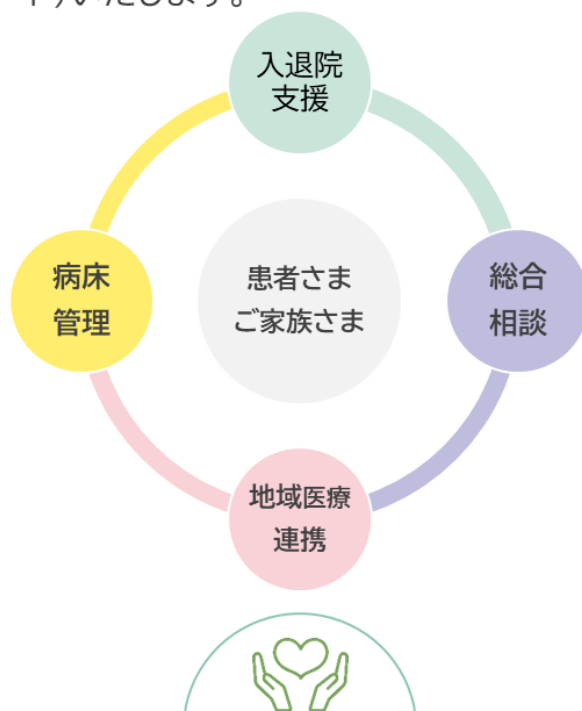
<受付時間> 〔平日〕 8:30~17:00 〔土曜日〕 8:30~12:30



患者支援センターのご紹介(入退院支援・相談)

患者支援センターのご紹介

患者支援センターは、入退院支援、総合相談、地域医療連携、病床管理の4部門で構成されており、患者さん・ご家族の方が安心して医療を受け、安全な療養生活を送ることができるよう支援(サポート)いたします。



入退院支援

ご入院される患者さん・ご家族の方に対し、看護師が入院前に面談を行い、ご不安な気持ちや疑問の軽減に努め、入院・手術に向けて心身の準備ができるようお手伝いいたします。

また、患者さんの病状や生活状況などの情報をもとに、病棟看護師と協同しながら退院後に起こりうる問題を予測し、退院へ向けた準備や調整を行います。

病院内だけでなく、在宅生活を支えるスタッフと連携を行い、入院前から退院後の療養生活まで安心・安全に過ごせるよう支援を行います。

ご相談について

ご相談を希望される方は、主治医・看護師にお申し出いただくか、**1階 患者支援センター**へお越しください。



総合相談

患者さん・ご家族の方と向き合い、療養生活で生じる心理的・社会的・経済的な問題の解決、調整を図りながら、その人らしく生きていくことを支援しています。

医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）が、ご相談を承ります。

<受付時間> 〔平日〕8:30～17:00 〔土曜日〕8:30～12:30

<相談内容>

- ◆ 生活上のご相談 ◆ 経済上のご相談（生活保護、年金、医療費助成、各種給付金など）
- ◆ 在宅介護や療養場所のご相談 ◆ 仕事と療養を両立させるためのご相談など



がん相談

がんの患者さんやご家族の方、地域の方々など、どなたでもご利用いただけます。
不安やお悩みについて一緒に考えていきましょう。

<受付時間> 〔平日〕8:30～17:00 〔土曜日〕8:30～12:30

<相談内容>

- ◆ 病気や治療について不安 ◆ 制度 ◆ 仕事の継続 ◆ 緩和ケアなど



安全な入院生活・院内感染防止についてのお願い

安全な入院生活のために患者さまへのお願い



転倒・転落防止について

慣れない環境での入院生活により転倒・転落の危険性があります。

当院では、危険防止対策を行っておりますが、完全に防止することは難しく、患者さん・ご家族のご協力が必要となります。

転倒防止のため、**かかとの覆われたすべりにくい履き物**をご用意ください。

※ゴム製のサンダル、スリッパなどは転倒の危険があります。入院中のご使用はお控えください。



ネームバンドの装着

安全な医療・看護を行うため、入院中はネームバンドの装着（手首もしくは足首）をお願いしています。ネームバンドには、患者さんの氏名、患者番号を記載しています。ご本人確認のため、ネームバンドの確認と口頭でお名前をお伝えいただきますのでご協力ください。



離院防止のお願い

ご家族の方の面会により、患者さんの入院や病気に対する不安な気持ちを和らげる効果がありますのでご協力をお願いします。

なお、患者さんの状況により、パジャマ・寝巻き以外の私服について、お持ち帰りをお願いする場合があります。

院内感染防止についてのお願い

院内感染予防へのご協力をお願いします。

病院には抵抗力の弱い患者さんがご入院しています。医療関連の感染を防止するために、患者さんや病院に出入りする全ての方々にも感染対策にご協力いただくことが重要となります。見えない微生物の侵入を防止するため、感染対策へのご理解ご協力をお願いします。

また、**ご家族の方や同居者で感染症の診断を受けた場合**、速やかに**看護師へお知らせ**ください。

手指衛生

手指衛生には流水と石けんによる手洗いと、手指消毒用アルコールを手指にすり込む方法があります。手指消毒用アルコールは病棟に設置しておりますので、病室への出入り時、食事前、トイレの後などは必ず手指衛生を行ってください。

咳(せき)エチケット

咳・痰(たん)などの症状がある方は必ずマスクを着用してください。
咳、くしゃみをする際は口と鼻をティッシュペーパーなどで覆い、人が居ない方向へ向かい行うようにしてください。

感染予防

耐性菌や感染症などが確認された場合、他の患者さんへの感染を防止するため、感染予防の表示を行い、病院スタッフは手袋・ビニールエプロンなどの感染予防を行います。ご協力をお願いします。

針刺し・切創など

患者さんの血液が付着した注射針などが、誤って病院スタッフに刺さってしまった場合、感染予防のため、感染症検査(採血)を行う場合がありますのでご理解ご協力をお願いします。
なお、この場合による検査の費用については発生いたしません。



採血を受けられる患者さまへ

「採血」は病気の診断や病状の把握を行う検査のため、血液を採取する医療行為です。

国家資格を有する「臨床検査技師」「看護師」「医師」が採血を担当しております。

安全で確実な採血のために以下の点にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

本人確認にご協力ください

「患者間違い防止」のため、ご自身にお名前(姓名)と生年月日を
言っていただきます。

以下に該当する方は事前にお申し出ください

- 採血時に気分が悪くなったことがある方
- 消毒薬(アルコールなど)や手袋(ラテックスなど)にアレルギーをお持ちの方
- 血液透析中の方
- 乳房切除手術を受けられた方
- 血液をさらさらにする薬(ワーファリン・プラビックスなど)を服用中の方
- その他、採血に関して不安のある方

しびれや痛みを感じたらお知らせください

採血中に痛みやしびれが生じたらすぐにお知らせください。

採血後は揉まずに押さえてください

採血した後に血が止まりにくかったり、跡が青くなったりすることがあります。採血後5分以上、採血したところを揉まずにしっかり押さえてください。



再採血

針を刺しても採血できない場合や、1回の採血で必要な血液量が採取できない場合には針を刺す場所を変えて再度、採血させていただきます。



採血に伴い起こりうる症状とご注意

採血は細心の注意を払って行います。基本的に安全で併発症(合併症)を起こすことは少なく、軽症なものが多いですが、まれに次のような症状が起こることがあります。その際は最善の処置を行います。

止血困難・皮下血腫(青あざ)

採血後に血が止まりにくかったり青あざが生じたりすることがあります。十分圧迫して(押さえて)止血して下さい。血が止まりにくい方はお申し出ください。内出血した場合、青あざになることがあります。その場合でも1~2週間くらいで消えますのでご心配いりません。

アレルギー

採血時の消毒薬やスタッフの手袋(ラテックス)などでかゆみ、発疹をはじめとするアレルギー症状が出る場合があります。アレルギーをお持ちの方はお申し出ください。

神経損傷

採血後の手指へ広がる痛み、しびれなどが持続することがあります。約1万~10万回の採血に1回程度起こるとされています。痛み、しびれが続く場合はお申し出ください。

血管迷走神経反応

採血時や採血前後に、神経が興奮し急激に血圧が下がることによって、めまい、気分不調、意識消失などひきおこすことがあります。気分の悪くなったことがある方はお申し出ください。

※これらの症状が起きて診察を要した場合にかかる医療費は通常の保険診療扱いとなりますのでご了承ください。



疑問点など

詳しい検査項目や結果の解釈などについては担当医におたずねください。



せん妄について

*せん妄とは

せん妄は、脱水、感染、貧血、薬物など、からだに何らかの負担がかかったときに生じる脳の機能の乱れであり、おもに次のような変化や特徴がみられます。

せん妄のときは、こんな変化や特徴があります

- 意識がくもっていてぼんやりとしている
- もうろうとしていて話のつじつまが合わない
- 朝と夜を間違える、病院と家を間違える、家族のことがわからない
- 治療をしていることを忘れて、点滴のチューブ類を抜いてしまう
- 怒りっぽくなり、興奮する
- 見えないものを見えると言ったり(幻視)、ありえないことを言う(妄想)
- 夜、ねむらない
- 症状は急に生じることが多く、夜になると症状が激しくなる

せん妄は一般の総合病院に入院している患者さんの20～30%にみられる症状であり、入院後や症状が進んだ時期、手術のあとすぐにその割合はさらに上昇するといわれています。

せん妄になりやすい方は

- 高齢の方
- お酒の量が多い方
- 認知症あるいは普段からもの忘れのある方
- 視力が低下している方や難聴がある方
- 以前にせん妄になったことがある方

せん妄は、体の症状のひとつで「気持ちの持ちよう」や「こころの問題」ではありません。適切な治療を行えば、半数以上の患者さんで症状が改善するといわれています。

*せん妄がもたらすもの

- 危険な行動の原因となる
(知らないあいだに点滴やチューブを抜いてしまう、ベッドから落ちてしまうなど)
- 患者さん自身がつらさを感じる
(頭が混乱して眠れない、不安になるなど)
- 治療がスムーズにすすまない
(意識がくもった状態で意思がはっきりしない、治療のための協力が得られないなど)

*ご家族のみなさまへ

患者さんの意識が混乱しているときは、ご家族がそばにいただけで患者さんは安心されます。

- つじつまの合わないお話が合っても、無理に正す必要はありません。
- いつも通りおちついた言葉かけをお願いいたします。
- 症状が強くなるときは、ご家族に付き添いをお願いすることもあります。
患者さんのためにぜひご協力をお願いいたします。

せん妄を予防するために・・・

- ・普段お使いの眼鏡や補聴器をお持ちください
- ・普段よく使っているものやよく目にするものなど なじみのあるものをお持ちください
- ・カレンダーや時計など日にちや時間が分かるものをお持ちください
- ・日課にされていること(例えば・・・新聞を読む、決まった時間に決まったテレビ番組を見るなど)を続けることも効果的です
- ・せん妄を起こしやすいお薬を使用されている場合は、主治医や薬剤師と相談しお薬の調整を行います
- ・危険物の持ち込み(ハサミやライターなど)は禁止となっています
- 普段と違う様子に気づいたらすぐに看護師、担当医にお知らせください

分からないこと、お困りのことがありましたら、遠慮なく病棟看護師、担当医へご相談ください



川西市立総合医療センターにおける個人情報の利用範囲

〔取得個人情報の内容〕

氏名、生年月日、住所、健康状態、病歴、家庭状況など、医療に関するその他一切の患者様やご家族様に関する情報

〔院内での利用に係る事例〕

1. 患者様の回復と健康維持を目的として提供する医療行為の実施、診療録・処方箋・看護記録・検査所見・画像所見等の作成に利用します
2. 診療報酬の請求事務の為、保険情報等を利用します
3. 病院管理・経営上の目的により、入退院等の病棟管理、会計・経理業務、医療事故等の報告、外部評価機関における評価の為の閲覧に利用します
4. 業務上必要な帳票やデータベースの作成に利用します

〔他の事業者等への情報提供を伴う事例〕

■ 患者様に提供する医療サービスに関する事柄について

5. 他の病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携に必要な情報を提供します
6. 他の医療機関等からの照会への回答を行います
7. 患者様の診療にあたり、外部の医師等の意見・助言を求める場合に利用します
8. 検体検査業務の委託、その他の業務委託に利用します
9. 家族様への病状説明に利用します
病状説明はご家族様であっても、ご本人の同意が基本的には必要ですが、ご病状によりご本人の同意が得られない場合は、主治医の判断により説明を行います

■ 医療保険業務に関する事柄について

10. 審査支払機関へのレセプト(診療報酬明細書)の提出に利用します
11. 審査支払機関または保険者への照会及び審査支払機関または保険者からの照会への回答を行います
12. 公費負担医療に関する行政機関等へのレセプトの提出、照会への回答

■ 事業者等からの委託を受けて健康診断を行った場合について

13. 事業者等へその結果の通知を行います

■ 法令に関する事柄について

14. 行政機関による医療監視や医療指導監査への対応に利用します
15. 裁判所等の命令による情報提供を行うことがあります
16. 感染予防法等、法令に基づく情報提供を行うことがあります

〔上記以外の情報提供を伴う事例〕

17. 外部からのご入院の存否に関するお問い合わせへの回答を行います
18. 外来受付等でお名前呼び出しを行う場合があります
19. 医師賠償責任保険等に係る専門団体、保険会社等への相談又は届出に利用する事があります
20. 実習への協力や学術研究、症例発表等に利用することがあります

<付記>

- 1 上記のうち、同意しがたい事項がある場合には、その旨をお申し出ください。
- 2 お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱いさせていただきます。
- 3 これらの同意事項はいつでも撤回、変更することが可能です。

その他患者さまへのお願い



喫煙について

**病院敷地内及び
全館禁煙です。**

ご理解ご協力をお願いします。(電子
たばこ含む)



医療系学生の実習

当院は、医療系学生の実習施設となります。

各職種の実習生は、当院指導者の指導・監督のもとで、患者さまの介助等を行う場合がありますが、診療行為を行うことはありません。

医療従事者の育成のため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



駐車場のご利用

入院中の駐車場ご利用はご遠慮ください。

面会・お見舞いの方がご利用される場合は、1階 総合受付まで駐車券を提示してください。



非常事態・災害時

避難の際は、あわてず職員の誘導に従い行動してください。

あらかじめ、病室より一番近い非常口をご確認ください。

臨床研究

当院では、病気の経過や原因を明らかにし、治療方法や患者さまの生活指導改善のために臨床研究を行っています。これらの研究では、診療で得られた患者さまの診療情報を利用することがあります。研究結果の公表については、個人情報に配慮し行います。

なお、研究にご同意いただけない場合は、主治医にお申し出ください。拒否された場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

よくあるご質問

◆ お食事のときにお箸やスプーンは付いていますか？

毎食のお食事と一緒にご配りしています。自助具などが必要な場合はご持参ください。

◆ 洗濯はできますか？

病棟各フロアに洗濯機と乾燥器を設置しています。(1台)

利用時間：午前9時から午後7時まで

利用料金：＜洗濯機＞ 200円 ＜乾燥機＞ 100円 (30分)

- 洗濯物の乾燥は乾燥機をご利用ください。洗濯干し場はございませんのでご了承ください。
- 時間外のご利用は、他の患者さんのご迷惑となりますのでご遠慮ください。
- 洗剤は各自でご準備ください。
- 100円硬貨のみご利用いただけます。事前にご準備ください。

◆ 付添いは必要ですか？

基準看護を実施していますので、付添いの必要はありません。

なお、患者さんの精神面、病状などにより医師が必要と認めた場合は付き添っていただくことがあります。付添い者の食事・着替え等のご自身で準備をお願いします。

◆ 入院に必要な日用品はどこで購入できますか？

病院1階の総合受付で販売しています。日用品(歯ブラシ・ボックスティッシュなど)の購入を希望される場合は病院1階のコンシェルジュにお声がけください。

なお、病院内には理髪店・ATM・コンビニエンスストアはありませんのでご了承ください。

ご不明な場合はスタッフへお尋ねください。

<受付時間> 平日8:30~17:00 土曜日:8:30~12:30

※上記時間帯以外は、北側入口の救急外来受付で対応致します。

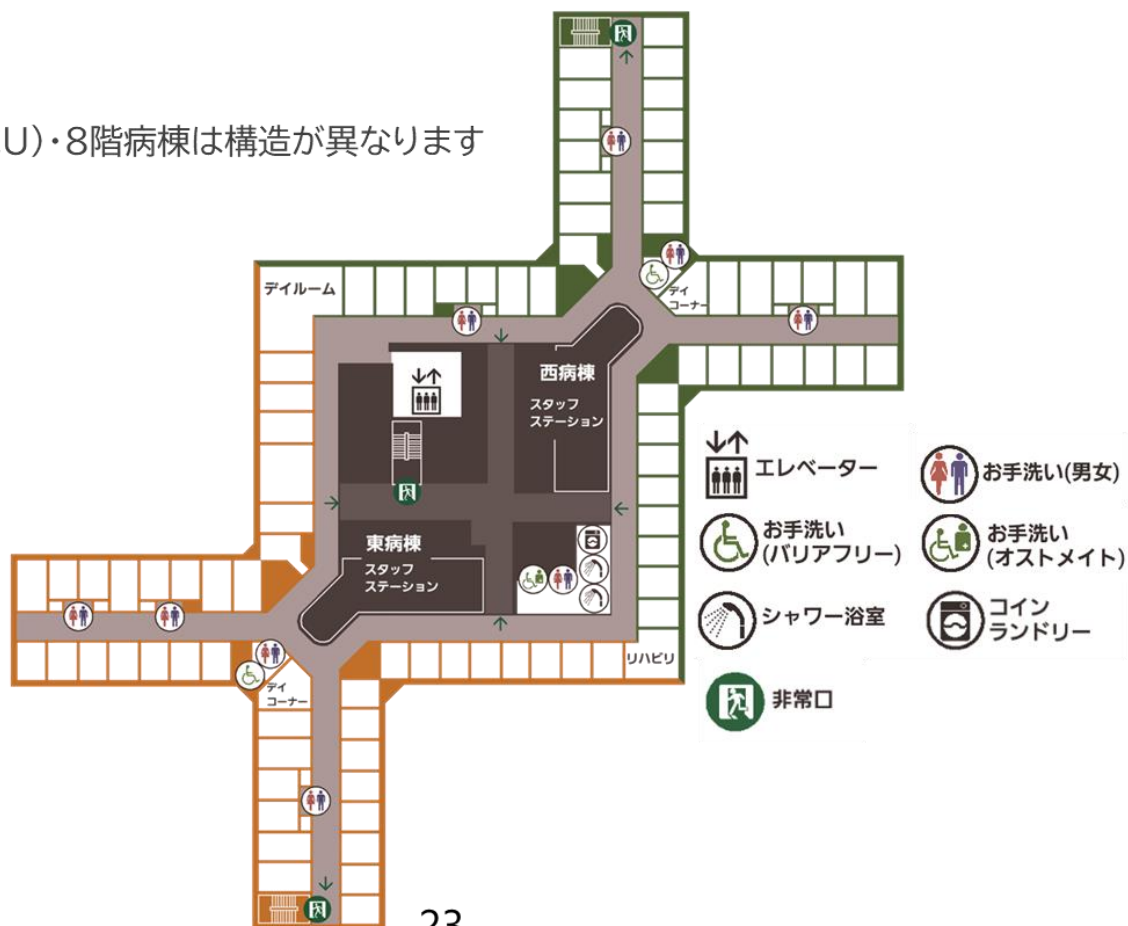


◆ 自動販売機はありますか？

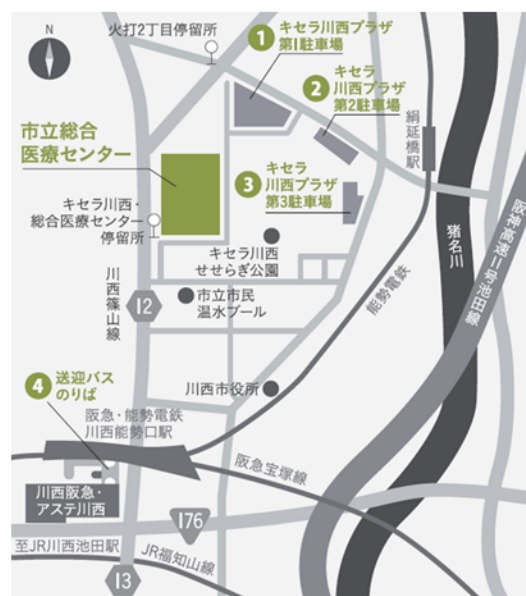
病棟各フロアのデイルームに設置しています。また、デイコーナーには給茶器・電子レンジを設置していますのでご利用ください。

病棟図

3階(HCU)・8階病棟は構造が異なります



	東 棟 ／ 西 棟	
9 F	厨 房	
8 F	病 室	病 室
7 F	病 室	病 室・SCU
6 F	病 室	病 室
5 F	病 室	病 室
4 F	病 室	病 室
3 F	手術室／HCU／病理診断室など	
2 F	外来診療・処置／生理検査室／内視鏡センター／化学療法／リハビリテーションなど	
1 F	救急／画像診断(X線撮影室・CT室・血管造影室など)／患者支援センター(地域医療連携・入退院支援・総合相談)／総合受付(初診・再来受付・会計支払い・文書受付)／カフェなど	



川西市立総合医療センター

🏠 兵庫県川西市火打1丁目4番1号

☎ 0570-01-8199(ナビダイヤル)

お車の場合

キセラ川西プラザ 第1駐車場(病院利用者の優先駐車場)

※ 満車の場合は同プラザ 第2.3駐車場も利用可